

財 務 諸 表

## 貸 借 対 照 表

横浜市住宅供給公社  
(単位：円)

科 目	前年度 平成29年3月31日現在	当年度 平成30年3月31日現在
<b>流動資産</b>	12,580,251,197	7,542,932,806
現金預金	6,810,504,731	6,913,934,990
有価証券	40,000,000	0
未収金	278,137,722	357,735,630
分譲事業資産	5,248,099,981	70,151,075
分譲資産	0	70,151,075
分譲資産建設工事	5,248,099,981	0
まちづくり事業建設工事	51,305,533	62,968,610
受託事業建設工事	16,134,807	12,708,566
前払金	15,633,394	29,790,260
その他流動資産	120,482,549	95,643,675
貸倒引当金	△47,520	0
<b>固定資産</b>	22,211,987,688	22,041,460,558
<b>賃貸事業資産</b>	21,758,414,661	21,631,878,703
賃貸住宅資産	15,844,755,285	15,935,649,323
減価償却累計額	△3,453,147,594	△3,660,494,303
減損損失累計額	△80,361,792	△80,361,792
賃貸施設等資産	11,944,798,890	12,013,027,552
減価償却累計額	△2,496,733,437	△2,574,106,668
減損損失累計額	△10,907,661	△10,907,661
長期前払費用	10,010,970	9,072,252
<b>その他事業資産</b>	182,215,523	160,820,463
長期事業未収金	182,215,523	160,820,463
<b>有形固定資産</b>	66,983,853	90,297,746
建物等資産	114,999,962	89,079,900
減価償却累計額	△57,975,138	△38,798,545
減損損失累計額	△32,678,207	△32,678,207
土地資産	46,999,305	46,999,305
減損損失累計額	△24,810,249	△24,810,249
<b>その他有形固定資産</b>	143,215,563	174,247,389
減価償却累計額	△122,767,383	△123,741,847
<b>無形固定資産</b>	24,980,719	17,255,910
<b>その他無形固定資産</b>	24,980,719	17,255,910
<b>その他固定資産</b>	234,703,336	195,859,093
長期有価証券	30,000,000	30,000,000
その他資産	204,703,336	165,859,093
貸倒引当金	△55,310,404	△54,651,357
<b>資 産 合 計</b>	<b>34,792,238,885</b>	<b>29,584,393,364</b>

科 目	前年度	当年度
	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
<b>流動負債</b>	9,897,019,101	3,332,101,992
次期返済長期借入金	5,603,894,197	866,564,788
未払金	1,616,707,915	858,153,684
前受金	1,129,849,525	60,828,044
預り金	1,465,664,273	1,468,159,425
引当金	77,644,420	77,017,788
期末手当等引当金	77,644,420	77,017,788
その他流動負債	3,258,771	1,378,263
<b>固定負債</b>	10,716,792,033	11,656,062,238
長期借入金	7,298,593,803	8,346,499,026
預り保証金	836,439,130	822,961,062
繰延建設補助金	889,745,023	857,927,115
引当金	1,298,962,628	1,247,459,132
退職給付引当金	563,050,445	581,598,029
計画修繕引当金	735,912,183	665,861,103
資産除去債務	22,965,876	22,965,876
その他固定負債	370,085,573	358,250,027
<b>【負債合計】</b>	<b>20,613,811,134</b>	<b>14,988,164,230</b>
<b>資本金</b>	10,000,000	10,000,000
<b>剰余金</b>	14,168,427,751	14,586,229,134
資本剰余金	607,303,777	607,303,777
利益剰余金	13,458,140,236	13,875,150,526
特定目的積立金	102,983,738	103,774,831
<b>【資本合計】</b>	<b>14,178,427,751</b>	<b>14,596,229,134</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>34,792,238,885</b>	<b>29,584,393,364</b>

## 損 益 計 算 書

横浜市住宅供給公社  
(単位：円)

科 目	前年度	当年度
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
<b>事業収益 [a]</b>	9,339,131,854	20,920,767,665
分譲事業収益	3,957,342,600	15,203,273,000
住宅地分譲事業収益	3,957,342,600	15,203,273,000
一般分譲住宅事業収益	3,957,342,600	15,203,273,000
賃貸管理事業収益	1,643,324,267	1,652,846,298
賃貸住宅管理事業収益	929,090,576	926,441,786
一般賃貸住宅管理事業収益	550,704,994	581,264,360
特優賃住宅管理事業収益	352,451,111	318,717,222
高優賃住宅管理事業収益	25,934,471	26,460,204
賃貸施設管理事業収益	714,233,691	726,404,512
受託事業収益	3,401,867,044	3,642,768,471
まちづくり事業収益	88,511,911	99,600,135
マンション等管理支援事業収益	1,245,843,974	1,320,358,760
民間提携住宅事業収益	745,145,978	731,932,233
市営住宅管理受託事業収益	1,314,232,835	1,482,368,261
その他受託事業収益	8,132,346	8,509,082
指定管理者業務収益	328,093,649	414,804,630
市営住宅管理事業収益	328,093,649	414,804,630
その他事業収益	8,504,294	7,075,266
長期割賦事業収益	8,504,294	7,075,266
<b>事業原価 [b]</b>	8,058,780,681	19,996,054,804
分譲事業原価	3,220,606,538	14,663,742,922
住宅地分譲事業原価	3,220,606,538	14,663,742,922
一般分譲住宅事業原価	3,220,606,538	14,663,742,922
賃貸管理事業原価	1,178,892,891	1,332,848,290
賃貸住宅管理事業原価	733,512,182	903,695,959
一般賃貸住宅管理事業原価	436,527,912	530,355,561
特優賃住宅管理事業原価	273,271,654	350,206,055
高優賃住宅管理事業原価	23,712,616	23,134,343
賃貸施設管理事業原価	445,380,709	429,152,331
受託事業原価	3,317,518,754	3,573,154,128
まちづくり事業原価	91,081,711	112,369,665
マンション等管理支援事業原価	1,185,283,511	1,258,971,114
民間提携住宅事業原価	715,757,520	709,456,894
市営住宅管理受託事業原価	1,316,499,755	1,488,831,670
その他受託事業原価	8,896,257	3,524,785
指定管理者業務原価	341,188,216	425,697,869
市営住宅管理事業原価	341,188,216	425,697,869
その他事業原価	574,282	611,595
長期割賦事業原価	574,282	611,595

科 目	前年度	当年度
	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
一般管理費 [c]	218,694,673	210,638,620
事業利益(損失) [d=a-b-c]	1,061,656,500	714,074,241
その他経常収益 [e]	11,140,675	28,239,398
受取利息	1,391,553	1,364,040
雑収入	9,749,122	26,875,358
その他経常費用 [f]	58,429,300	137,748,782
支払利息	24,701,513	24,097,953
支払手数料	0	68,040,000
雑損失	33,727,787	45,610,829
経常利益(損失) [g=d+e-f]	1,014,367,875	604,564,857
特別利益 [h]	5,900,000	0
固定資産売却益	5,900,000	0
特別損失 [i]	211	186,763,474
固定資産除却損	211	6,476,279
事務所移転費用	0	31,912,271
借入金期日前返済費用	0	148,374,924
当期純利益(純損失) [j=g+h-i]	1,020,267,664	417,801,383

# 剰 余 金 計 算 書

横浜市住宅供給公社  
(単位：円)

項 目		前年度	当年度
		自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月 31日
資本剰余金	期首残高	607,303,777	607,303,777
	当期増加高又は減少高	0	0
	期末残高	607,303,777	607,303,777
利益剰余金	期首残高	12,444,742,022	13,458,140,236
	修正再表示後の期首残高	12,444,742,022	13,458,140,236
	当期増加高又は減少高	1,013,398,214	417,010,290
	当期純利益	1,020,267,664	417,801,383
	賃貸住宅建替資金等積立金への積立による減少高	△6,869,450	△791,093
期末残高	13,458,140,236	13,875,150,526	
特定目的積立金	期首残高	96,114,288	102,983,738
	当期増加高又は減少高	6,869,450	791,093
	賃貸住宅建替資金等積立金の積立による増加高	6,869,450	791,093
	期末残高	102,983,738	103,774,831
合計	期首残高	13,148,160,087	14,168,427,751
	当期増加高又は減少高	1,020,267,664	417,801,383
	期末残高	14,168,427,751	14,586,229,134

## キャッシュフロー計算書

横浜市住宅供給公社  
(単位:円)

区 分	前年度	当年度
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
事業活動によるキャッシュフロー	4,242,829,997	14,197,910,758
分譲事業活動による収支	3,762,682,200	14,090,212,407
住宅宅地分譲事業の収支	3,762,682,200	14,090,212,407
一般分譲住宅事業の収支	3,762,682,200	14,090,212,407
分譲住宅の譲渡による収入	3,762,682,200	14,090,212,407
賃貸管理事業活動による収支	878,087,157	480,554,476
賃貸住宅管理事業の収支	394,261,465	213,813,222
一般賃貸住宅管理事業の収支	223,615,292	318,118,741
賃貸管理事業による収入	548,326,297	574,413,862
賃貸管理事業による支出	△324,711,005	△256,295,121
特優賃貸住宅管理事業の収支	158,136,191	△118,587,384
賃貸管理事業による収入	328,120,689	212,142,409
賃貸管理事業による支出	△169,984,498	△330,729,793
高優賃貸住宅管理事業の収支	12,509,982	14,281,865
賃貸管理事業による収入	24,367,235	24,987,321
賃貸管理事業による支出	△11,857,253	△10,705,456
賃貸施設管理事業の収支	483,825,692	266,741,254
賃貸管理事業による収入	813,142,574	722,655,708
賃貸管理事業による支出	△329,316,882	△455,914,454
受託事業活動による収支	△29,016,689	105,245,084
まちづくり事業の収支	△5,163,045	△1,806,645
受託事業による収入	86,062,934	101,054,666
受託事業による支出	△91,225,979	△102,861,311
マンション等管理支援事業の収支	96,749,053	20,391,453
受託事業による収入	1,235,058,127	1,285,000,198
受託事業による支出	△1,138,309,074	△1,264,608,745
民間提携住宅事業の収支	24,356,375	16,952,127
受託事業による収入	756,688,441	737,634,698
受託事業による支出	△732,332,066	△720,682,571
市営住宅管理受託事業の収支	△154,422,894	65,361,901
受託事業による収入	1,315,955,056	1,481,613,244
受託事業による支出	△1,470,377,950	△1,416,251,343
その他受託事業の収支	9,463,822	4,346,248
受託事業による収入	18,496,817	7,573,047
受託事業による支出	△9,032,995	△3,226,799
指定管理者業務の収支	△33,605,169	△11,668,868
市営住宅管理事業の収支	△33,605,169	△11,668,868
指定管理者業務による収入	324,213,253	404,527,044
指定管理者業務による支出	△357,818,422	△416,195,912
その他事業活動による収支	54,964,936	27,196,997
長期割賦事業の収支	54,964,936	27,196,997
長期割賦事業による収入	56,530,913	28,234,462
長期割賦事業による支出	△1,565,977	△1,037,465
一般管理活動による収支	△230,640,996	△211,563,958
その他経常損益に係る収支	△48,940,299	△109,873,458
その他経常損益に係る収入	11,243,895	28,067,606
受取利息による収入	1,391,553	1,364,040
雑収入	9,852,342	26,703,566
その他経常損益に係る支出	△60,184,194	△137,941,064
支払利息による支出	△24,701,513	△24,097,953
支払手数料による支出	0	△68,040,000
雑損失	△35,482,681	△45,803,111
特別損益に係る収支	△132,373,206	△180,287,195
その他の収支	21,672,063	8,095,273

(単位:円)

区 分	前年度	当年度
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△2,131,405,305</b>	<b>△10,104,347,833</b>
事業資産形成活動による収支	△2,126,829,631	△10,460,842,036
分譲事業資産形成による収支	△1,815,345,371	△10,209,150,769
一般分譲住宅資産形成の収支	△1,815,345,371	△10,209,150,769
分譲住宅資産取得による収入	0	0
分譲住宅資産取得による支出	△1,815,345,371	△10,209,150,769
まちづくり事業建設工事の収支	△51,575,533	△83,151,956
まちづくり事業建設工事の収支	△51,575,533	△83,151,956
まちづくり事業建設工事による収入	0	291,600
まちづくり事業建設工事による支出	△51,575,533	△83,443,556
賃貸事業資産形成による収支	△259,908,727	△168,539,311
一般賃貸住宅資産取得の収支	△102,101,142	△86,572,778
賃貸住宅資産取得による支出	△102,101,142	△86,572,778
特優賃貸住宅資産取得の収支	△25,267,919	△4,321,260
賃貸住宅資産取得による支出	△25,267,919	△4,321,260
賃貸施設資産形成の収支	△132,539,666	△77,645,273
賃貸施設資産取得による支出	△132,539,666	△77,645,273
有価証券等の取得・償還等による収支	0	340,000,000
定期預金の解約による収入	1,200,000,000	600,000,000
定期預金の取得による支出	△1,200,000,000	△300,000,000
有価証券等の償還等による収入	0	40,000,000
有価証券等の取得等による支出	0	0
その他の投資活動による収支	△4,575,674	16,494,203
有形固定資産等の形成による収支	△2,422,725	△3,255,416
建物(社屋)等建設の収支	0	△2,063,237
その他の有形・無形固定資産形成収支	△2,531,345	△25,042,803
その他の固定資産形成の収支	108,620	23,850,624
その他収支	△2,152,949	19,749,619
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△497,411,316</b>	<b>△3,690,132,666</b>
事業活動に係る資金の返済による支出	△997,411,316	△5,689,424,186
分譲事業に係る借入金の返済による支出	△600,000,000	△3,200,000,000
賃貸管理事業に係る借入金の返済による支出	△397,411,316	△2,489,424,186
投資活動に係る資金の借入による収入	500,000,000	2,000,000,000
分譲事業資産形成に係る借入金による収入	500,000,000	0
賃貸管理事業資産形成に係る借入金による収入	0	2,000,000,000
その他財務活動に係る資金の調達及び返済による収支	0	△708,480
長期借入金の借入による収入	0	2,000,000,000
長期借入金借入の返済による支出	0	△2,000,000,000
リース債務に係る支出	0	△708,480
<b>当期中の資金収支合計</b>	<b>1,614,013,376</b>	<b>403,430,259</b>
<b>前期繰越金(現金及び現金同等物)</b>	<b>4,896,491,355</b>	<b>6,510,504,731</b>
<b>次期繰越金(現金及び現金同等物)</b>	<b>6,510,504,731</b>	<b>6,913,934,990</b>

(注記1) このキャッシュフロー計算書における次期繰越金(現金及び現金同等物)と、貸借対照表に掲記されている「流動資産/現金・預金」及び「固定資産/定期預金・有価証券」項目との関係は下表のとおりである。

貸借対照表科目	前年度	当年度
次期繰越金	6,510,504,731	6,913,934,990
流動資産	6,510,504,731	6,913,934,990
現金・預金	6,510,504,731	6,913,934,990
預金	6,510,504,731	6,913,934,990
その他の資金	370,000,000	30,000,000
流動資産	340,000,000	0
定期預金	300,000,000	0
有価証券	40,000,000	0
固定資産	30,000,000	30,000,000
長期有価証券	30,000,000	30,000,000
合計	6,880,504,731	6,943,934,990



# 注 記 事 項

## 1 重要な会計方針

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
<p>1 有価証券の評価基準及び評価方法 (1) 満期保有目的の有価証券 償却原価法によっている</p>	<p>1 有価証券の評価基準及び評価方法 (1) 満期保有目的の有価証券 同左</p>
<p>2 分譲事業資産の評価基準及び評価方法 分譲資産及び分譲資産建設工事 個別法による原価法</p>	<p>2 分譲事業資産の評価基準及び評価方法 分譲資産及び分譲資産建設工事 同左</p>
<p>3 固定資産の減価償却の方法 (1) 賃貸事業資産 賃貸住宅資産 ・償却方法：定額法 ・耐用年数：鉄骨鉄筋コンクリート造 50年ほか  賃貸施設資産 ・償却方法：定額法 ・耐用年数：法人税法に規定する耐用年数 鉄骨鉄筋コンクリート造の店舗用 39年ほか  (2) 有形固定資産 ・償却方法：定額法 ・耐用年数：法人税法に規定する耐用年数  (3) 無形固定資産 自社利用のソフトウェア 社内における見込利用可能期間(5年) に基づく定額法</p>	<p>3 固定資産の減価償却の方法 (1) 賃貸事業資産 賃貸住宅資産 同左  賃貸施設資産 同左  (2) 有形固定資産 同左  (3) 無形固定資産 同左</p>
<p>4 引当金の計上基準 (1) 計画修繕引当金 賃貸住宅資産の経年劣化等に対処するために、将来計画的に実施する修繕工事に要する費用の見積額を基礎として計上している。団地別・工事項目別に、計画額と計画修繕引当金の期末残高の差額を、実施までの見込み年数で均等に配分した額を繰入れている。</p>	<p>4 引当金の計上基準 (1) 計画修繕引当金 同左</p>
<p>(2) 貸倒引当金 賃貸管理事業収入未収金、長期事業未収金その他これに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため、賃貸管理事業収入未収金の一般債権については貸倒実績率、長期事業未収金については、貸倒リスクを踏まえた一定率、また、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討して、回収不能見込額を計上している。</p>	<p>(2) 貸倒引当金 同左</p>

前年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)																		
<p>(3) 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末の自己都合退職による期末要支給額の全額を計上している。</p> <p>(4) 期末手当等引当金 翌期支給の期末手当等の支給見込額のうち当期負担額を計上している。</p>	<p>(3) 退職給付引当金 同左</p> <p>(4) 期末手当等引当金 同左</p>																		
<p>5 特定目的積立金</p> <p>(1) 賃貸住宅建替資金等積立金 賃貸住宅建替資金等積立金は、平成元年4月1日付横浜市と締結した『生麦運河周辺総合整備事業に係る移転住宅敷地に関する協定書』に基づき、生麦ハイツに係る建替資金等に充当するため、当該住宅の利益の範囲内で理事会の決議に基づき計上している。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">当期繰入額</td> <td style="text-align: right;">6,869,450円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td style="text-align: right;">102,983,738円</td> </tr> </table>	当期繰入額	6,869,450円	期末残高	102,983,738円	<p>5 特定目的積立金</p> <p>(1) 賃貸住宅建替資金等積立金 賃貸住宅建替資金等積立金は、平成元年4月1日付横浜市と締結した『生麦運河周辺総合整備事業に係る移転住宅敷地に関する協定書』に基づき、生麦ハイツに係る建替資金等に充当するため、当該住宅の利益の範囲内で理事会の決議に基づき計上している。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">当期繰入額</td> <td style="text-align: right;">791,093円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td style="text-align: right;">103,774,831円</td> </tr> </table>	当期繰入額	791,093円	期末残高	103,774,831円										
当期繰入額	6,869,450円																		
期末残高	102,983,738円																		
当期繰入額	791,093円																		
期末残高	103,774,831円																		
<p>6 収益及び費用の計上基準</p> <p>(1) 分譲事業収益及び費用 収益は物件の引渡しをもって計上し、費用は発生の実態に基づいて計上している。</p> <p>(2) 賃貸管理事業、受託事業、指定管理者業務及びその他事業の収益及び費用 収益は期間または契約等により定められた役務の給付をもって計上し、費用は発生の実態に基づいて計上している。</p> <p>(3) その他の収益及び費用 収益は実現主義に基づき、費用は発生主義に基づき計上している。</p>	<p>6 収益及び費用の計上基準</p> <p>(1) 分譲事業収益及び費用 同左</p> <p>(2) 賃貸管理事業、受託事業、指定管理者業務及びその他事業の収益及び費用 同左</p> <p>(3) その他の収益及び費用 同左</p>																		
<p>7 建設期間中の支払利息等の原価算入方法</p> <p>(1) 分譲資産建設工事、まちづくり事業建設工事及び賃貸資産建設工事 分譲資産、まちづくり事業及び賃貸資産の建設工事に関連する借入金の利息及びその付随費用で、当該建設工事完了までのうち正常な期間内のものは、原価に算入している。 (当期算入額)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・分譲住宅建設工事</td> <td style="text-align: right;">28,879,307円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内訳 支払利息</td> <td style="text-align: right;">27,799,307円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">付随費用</td> <td style="text-align: right;">1,080,000円</td> </tr> <tr> <td>・まちづくり事業建設工事</td> <td style="text-align: right;">4,190,510円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内訳 支払利息</td> <td style="text-align: right;">2,806,676円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">付随費用</td> <td style="text-align: right;">1,383,834円</td> </tr> </table>	・分譲住宅建設工事	28,879,307円	内訳 支払利息	27,799,307円	付随費用	1,080,000円	・まちづくり事業建設工事	4,190,510円	内訳 支払利息	2,806,676円	付随費用	1,383,834円	<p>7 建設期間中の支払利息等の原価算入方法</p> <p>(1) 分譲資産建設工事、まちづくり事業建設工事及び賃貸資産建設工事 分譲資産、まちづくり事業及び賃貸資産の建設工事に関連する借入金の利息及びその付随費用で、当該建設工事完了までのうち正常な期間内のものは、原価に算入している。 (当期算入額)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・分譲住宅建設工事</td> <td style="text-align: right;">25,371,249円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内訳 支払利息</td> <td style="text-align: right;">25,371,249円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">付随費用</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> </table>	・分譲住宅建設工事	25,371,249円	内訳 支払利息	25,371,249円	付随費用	0円
・分譲住宅建設工事	28,879,307円																		
内訳 支払利息	27,799,307円																		
付随費用	1,080,000円																		
・まちづくり事業建設工事	4,190,510円																		
内訳 支払利息	2,806,676円																		
付随費用	1,383,834円																		
・分譲住宅建設工事	25,371,249円																		
内訳 支払利息	25,371,249円																		
付随費用	0円																		
<p>8 リース取引の処理方法 ファイナンス・リース取引については、原則として通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。ただし、個々のリース資産に重要性が乏しいと認められる場合には、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。</p>	<p>8 リース取引の処理方法 同左</p>																		
<p>9 消費税等の会計処理方法</p>	<p>9 消費税等の会計処理方法</p>																		

前年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。	同左
10 キャッシュフロー計算書の現金及び現金同等物の範囲 貸借対照表の現金預金の内、現金、当座預金及び普通預金の合計額と同額としている。	10 キャッシュフロー計算書の現金及び現金同等物の範囲 同左
11 その他重要な事項 なし	11 その他重要な事項 なし

2 補足情報

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)																																				
I 貸借対照表に関する事項	I 貸借対照表に関する事項																																				
<p>1 預金のペイオフについて 預金のペイオフに係る借入金相殺額及び限度超過額及び預金保険等の限度超過額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">預金の額</td> <td style="text-align: right;">6,810,504,731円(A)</td> </tr> <tr> <td>借入相殺の額</td> <td style="text-align: right;">6,792,215,434円(B)</td> </tr> <tr> <td>預金保険の額</td> <td style="text-align: right;">18,289,297円(C)</td> </tr> <tr> <td>超過額</td> <td style="text-align: right;">0円(A-B-C)</td> </tr> </table>	預金の額	6,810,504,731円(A)	借入相殺の額	6,792,215,434円(B)	預金保険の額	18,289,297円(C)	超過額	0円(A-B-C)	<p>1 預金のペイオフについて 預金のペイオフに係る借入金相殺額及び限度超過額及び預金保険等の限度超過額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">預金の額</td> <td style="text-align: right;">6,913,934,990円(A)</td> </tr> <tr> <td>借入相殺の額</td> <td style="text-align: right;">6,884,175,677円(B)</td> </tr> <tr> <td>預金保険の額</td> <td style="text-align: right;">29,759,313円(C)</td> </tr> <tr> <td>超過額</td> <td style="text-align: right;">0円(A-B-C)</td> </tr> </table>	預金の額	6,913,934,990円(A)	借入相殺の額	6,884,175,677円(B)	預金保険の額	29,759,313円(C)	超過額	0円(A-B-C)																				
預金の額	6,810,504,731円(A)																																				
借入相殺の額	6,792,215,434円(B)																																				
預金保険の額	18,289,297円(C)																																				
超過額	0円(A-B-C)																																				
預金の額	6,913,934,990円(A)																																				
借入相殺の額	6,884,175,677円(B)																																				
預金保険の額	29,759,313円(C)																																				
超過額	0円(A-B-C)																																				
<p>2 連帯債務額について</p> <p>(1) 連帯債務の内容 民間提携事業に係る土地所有者の独立行政法人住宅金融支援機構借入金の連帯債務</p> <p>(2) 連帯債務の額 256,355,846円</p>	<p>2 連帯債務額について</p> <p>(1) 連帯債務の内容 民間提携事業に係る土地所有者の独立行政法人住宅金融支援機構借入金の連帯債務</p> <p>(2) 連帯債務の額 243,676,317円</p>																																				
<p>3 賃貸事業資産等について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 「地方住宅供給公社に係る減損処理基準及び注解」に基づき、減損処理に係る会計処理を行った資産の状況は以下のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産のグループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>兆候</th> <th>認識</th> <th>計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①賃貸住宅資産</td> <td>10団地</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②賃貸施設資産</td> <td>17施設</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	資産のグループ数	減損処理の状況			兆候	認識	計上	①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—	②賃貸施設資産	17施設	なし	—	—	<p>4 賃貸事業資産等について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 「地方住宅供給公社に係る減損処理基準及び注解」に基づき、減損処理に係る会計処理を行った資産の状況は以下のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産のグループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>兆候</th> <th>認識</th> <th>計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①賃貸住宅資産</td> <td>10団地</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②賃貸施設資産</td> <td>17施設</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	資産のグループ数	減損処理の状況			兆候	認識	計上	①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—	②賃貸施設資産	17施設	なし	—	—
種別			資産のグループ数	減損処理の状況																																	
	兆候	認識		計上																																	
①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—																																	
②賃貸施設資産	17施設	なし	—	—																																	
種別	資産のグループ数	減損処理の状況																																			
		兆候	認識	計上																																	
①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—																																	
②賃貸施設資産	17施設	なし	—	—																																	
II 損益計算書に関する事項	II 損益計算書に関する事項																																				
<p>1 特別損益の主要なものについて</p> <p>(1) 固定資産除却損の内訳 有形固定資産の除却損 211円</p>	<p>1 特別損益の主要なものについて</p> <p>(1) 固定資産除却損の内訳 有形固定資産の除却損 6,476,279円</p> <p>(2) 事務所移転費用の内訳 相談センター移転に伴う原状回復費等である。 31,912,271円</p> <p>(3) 借入金期日前返済費用の内訳 一般賃貸住宅建設資金借換えに伴う損害金である。 148,374,924円</p>																																				

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
Ⅲ その他の補足情報	Ⅲ その他の補足情報
<p>1 資産価額の適正化の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地方住宅供給公社会計に係る資産価額の適正化実施基準」に基づき、賃貸事業資産等の資産価額の適正化を実施した。</li> <li>・適正化による評価差額増額は、「剰余金計算書」において資本剰余金として計算し、その結果を貸借対照表の資本の部の資本剰余金に計上した。</li> </ul> <p>○ 適正化の実施時期           平成17年3月31日</p> <p>○ 資産価額の評価方法 賃貸事業資産については、原則として、収益還元法の収益価格と土地資産の正味実現可能価額とのいずれか高い方の額を資産価額とし、事業用土地資産及び分譲事業資産等は、正味実現可能価額を資産価額とした。</p> <p>○ 評価差額総額           287,303,777円</p>	<p>1 資産価額の適正化の実施について</p> <p>同左</p>
<p>2 資産除去債務に係る事項について</p> <p>当公社では、横浜市との「公有財産賃貸借契約」に基づき、時間貸駐車場の管理運営を行っており、契約期間満了時に原状回復義務が課されている。</p> <p>したがって、公社会計基準「資産除去債務に関する実務指針」に基づき、以下の会計処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・借地契約期間 平成26年4月1日から平成29年3月31日</li> <li>・将来キャッシュ・フロー   22,965,876円     割引率   0.025%</li> <li>・期首残高                               22,960,136円</li> <li>・時の経過による調整額               5,740円</li> <li>・期末残高                               22,965,876円</li> </ul>	<p>2 資産除去債務に係る事項について</p> <p>当公社では、横浜市との「公有財産賃貸借契約」に基づき、時間貸駐車場の管理運営を行っており、契約期間満了時に原状回復義務が課されている。</p> <p>したがって、公社会計基準「資産除去債務に関する実務指針」に基づき、以下の会計処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・借地契約期間 平成26年4月1日から平成30年3月31日</li> <li>・将来キャッシュ・フロー   22,965,876円     割引率   0.0%</li> <li>・期首残高                               22,965,876円</li> <li>・時の経過による調整額               0円</li> <li>・期末残高                               22,965,876円</li> </ul>